

野村エマーシング・ソブリン 円投資型1110

償還運用報告書(全体版)

第43期（決算日2022年7月25日） 第44期（償還日2022年10月24日）

作成対象期間（2022年4月26日～2022年10月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、約款の規定にもとづき償還決算を行ない、償還価額が決定いたしました。
ここに設定日から償還までの運用経過をご報告いたしますとともに、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／債券	
信託期間	2011年10月26日から2022年10月24日までです。	
運用方針	野村エマーシング・ソブリン 円投資型 マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として米ドル建ての新興国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行なうことを基本とします。マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。為替ヘッジはマザーファンドにおいて行なうため、原則として行ないません。	
主な投資対象	野村エマーシング・ソブリン 円投資型1110	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	米ドル建ての新興国の国債等およびわが国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村エマーシング・ソブリン 円投資型1110	株式への直接投資は行ないません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への直接投資は行ないません。株式への投資は転換社債を転換したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に原則として経費控除後の利子・配当等収益と売買益から、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価 額			受 益 者 債 券 債 元 元 利 回 組 入 比 率 先 物 比 率 残 存 本 率			
		税 分 分 配	み 期 金 騰	中 期 額 落		中 期 率 落		
(設定日) 2011年10月26日	円 銭 10,000	円 —	円 銭 —	% —	% 100.0			
1期(2012年1月24日)	9,977	75	52	0.5	2.1	96.0	—	99.5
2期(2012年4月24日)	10,289	75	387	3.9	8.8	97.4	—	87.5
3期(2012年7月24日)	10,572	75	358	3.5	10.7	96.3	—	74.2
4期(2012年10月24日)	10,776	75	279	2.6	10.8	99.0	—	66.2
5期(2013年1月24日)	10,749	75	48	0.4	9.0	98.9	—	53.4
6期(2013年4月24日)	10,688	75	14	0.1	7.6	103.1	—	45.4
7期(2013年7月24日)	10,063	60	△565	△5.3	3.3	96.4	—	40.9
8期(2013年10月24日)	10,065	60	62	0.6	3.2	96.9	—	38.3
9期(2014年1月24日)	9,791	60	△214	△2.1	1.9	96.7	—	36.3
10期(2014年4月24日)	9,973	60	242	2.5	2.7	96.9	—	33.9
11期(2014年7月24日)	10,157	60	244	2.4	3.3	97.3	—	32.2
12期(2014年10月24日)	10,151	60	54	0.5	3.2	96.5	—	31.0
13期(2015年1月26日)	10,207	60	116	1.1	3.3	96.0	—	27.3
14期(2015年4月24日)	10,236	60	89	0.9	3.3	96.9	—	24.8
15期(2015年7月24日)	9,992	60	△184	△1.8	2.6	98.5	—	23.7
16期(2015年10月26日)	9,973	60	41	0.4	2.6	98.3	—	22.3
17期(2016年1月25日)	9,644	60	△269	△2.7	1.8	97.4	—	20.4
18期(2016年4月25日)	10,083	60	499	5.2	2.8	99.4	—	19.2
19期(2016年7月25日)	10,301	60	278	2.8	3.2	100.3	—	18.0
20期(2016年10月24日)	10,254	60	13	0.1	3.1	98.5	—	17.1
21期(2017年1月24日)	9,866	60	△328	△3.2	2.3	96.5	—	15.9
22期(2017年4月24日)	10,005	60	199	2.0	2.6	96.8	—	15.3
23期(2017年7月24日)	10,079	60	134	1.3	2.7	96.0	—	14.8
24期(2017年10月24日)	10,065	60	46	0.5	2.7	98.7	—	14.5
25期(2018年1月24日)	9,918	60	△87	△0.9	2.4	95.3	—	13.7
26期(2018年4月24日)	9,624	60	△234	△2.4	2.0	98.6	—	13.5
27期(2018年7月24日)	9,464	60	△100	△1.0	1.7	96.4	—	13.1
28期(2018年10月24日)	9,125	60	△279	△2.9	1.3	98.5	—	12.7
29期(2019年1月24日)	9,194	60	129	1.4	1.4	96.1	—	12.4
30期(2019年4月24日)	9,309	60	175	1.9	1.6	97.5	—	12.0
31期(2019年7月24日)	9,518	60	269	2.9	1.9	97.1	—	11.5
32期(2019年10月24日)	9,540	60	82	0.9	1.9	98.7	—	11.0
33期(2020年1月24日)	9,565	60	85	0.9	2.0	99.0	—	10.6
34期(2020年4月24日)	8,992	60	△513	△5.4	1.3	96.0	—	10.0
35期(2020年7月27日)	9,607	60	675	7.5	2.1	96.0	—	9.8
36期(2020年10月26日)	9,668	60	121	1.3	2.1	95.4	—	9.1
37期(2021年1月25日)	9,767	60	159	1.6	2.2	96.3	—	8.9
38期(2021年4月26日)	9,594	60	△113	△1.2	2.1	98.4	—	8.6
39期(2021年7月26日)	9,666	60	132	1.4	2.1	99.0	—	8.5
40期(2021年10月25日)	9,439	60	△167	△1.7	1.9	100.8	—	8.3
41期(2022年1月24日)	9,295	60	△84	△0.9	1.8	97.7	—	8.0
42期(2022年4月25日)	8,692	60	△543	△5.8	1.2	106.1	—	7.8
43期(2022年7月25日)	8,410	60	△222	△2.6	1.0	100.5	—	7.5
(償還時)	(償還価額)							
44期(2022年10月24日)	7,822.79	—	△587.21	△7.0	0.4	—	—	6.4

* 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第43期	(期 首) 2022年4月25日	円 銭 8,692	% —	% —	% 106.1	% —
	4月末	8,690	△0.0	—	106.3	—
	5月末	8,670	△0.3	—	101.8	—
	6月末	8,321	△4.3	—	104.1	—
	(期 末) 2022年7月25日	8,470	△2.6	—	100.5	—
第44期	(期 首) 2022年7月25日	8,410	—	—	100.5	—
	7月末	8,510	1.2	—	99.2	—
	8月末	8,388	△0.3	—	100.8	—
	9月末	7,892	△6.2	—	102.6	—
	(償還時) 2022年10月24日	(償還価額) 7,822.79	△7.0	—	—	—

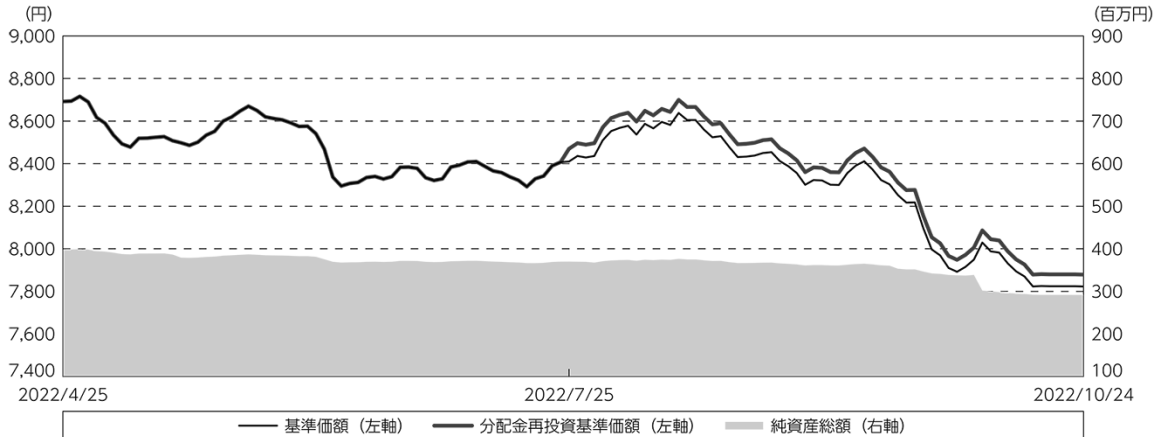
* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第 43 期 首： 8,692円

第44期末(償還日)： 7,822円79銭 (既払分配金(税込み)：60円)

騰 落 率： △ 9.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2022年4月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は9.4%の下落。

基準価額は、第43期期首の8,692円から第44期期末7,822.79円(分配後)となりました。第43期に分配金を60円お支払いしましたので、分配金を考慮した値下がり額は809.21円となりました。

(上昇) 債券を保有していたことによるインカムゲイン(利息収入)。

(下落) 保有していた債券の値下がり(キャピタルロス)。

(下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

○投資環境

当作成期を通じて、10年米国国債利回りは上昇（価格は下落）しました。

米国では、CPI（消費者物価指数）の前年比伸び率が高水準で推移する中で、FRB（米連邦準備制度理事会）がインフレ率抑制に向けた金融引き締め姿勢を示し、積極的に利上げを行ないました。このような環境下、10年米国国債利回りは上昇しました。

米ドル建てエマージング国債市場全体の対米国債スプレッド（利回り格差）は、拡大しました。

ハンガリーでは、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻や欧米各国によるロシアに対する経済制裁等が、ロシアと地理的・経済的に結びつきの強いハンガリーのファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）に悪影響を与えると見られました。また、EU（欧州連合）欧州委員会がハンガリーの汚職を理由に同国への補助金の一時停止を勧告したことなどから、EUと同国の関係性が懸念されました。このような環境下で、米ドル建てハンガリー債券の対米国債スプレッドは拡大しました。

コロンビアでは、大統領選挙が実施され、左派のグスタボ・ペトロ氏が勝利しました。ペトロ氏は富裕層への増税や自由貿易協定の見直しによる格差の解消などを掲げていました。同国では、これまで右派、中道右派が政権を担ってきた中で、初の左派政権の誕生となったことから従来の親米外交からの転換などが懸念されました。新政権による政策の不確実性が懸念される中で、米ドル建てコロンビア債券の対米国債スプレッドは拡大しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村エマージング・ソブリン 円投資型1110]

[野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド] 受益証券の組入比率を高位に維持しました。

定時償還に伴い、[野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド] 受益証券の売却を実施し、現金化しました。

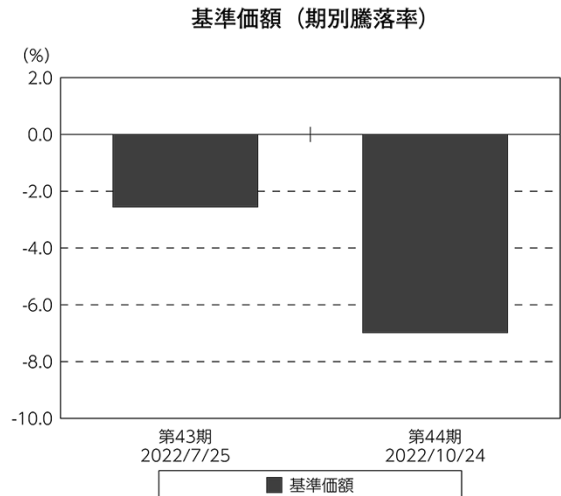
[野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド]

信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して決定した投資対象国の中から、金利水準が相対的に高い8カ国を選定し、ほぼ均等に投資しました。当作成期首から4月末までは、ブラジル、インドネシア、中国、ハンガリー、南アフリカ、メキシコ、フィリピン、コロンビアに投資を行ないました。5月にフィリピン、ハンガリーからルーマニア、ペルーへの投資国入れ替えを実施した他、8月に中国からハンガリーへの投資国入れ替えを実施し、投資国をブラジル、インドネシア、ハンガリー、ルーマニア、南アフリカ、メキシコ、ペルー、コロンビアとしました。ポートフォリオのデュレーションは4～6年程度を維持しました。また、外貨建資産については、対円でヘッジを行ない、為替リスクの低減を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは原則として、BB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。このような当運用の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎分配金

分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、経費控除後の利子・配当等収益等から次の通りとさせていただきます。第44期では、償還のため分配金をお支払いしておりません。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないました。

	第43期
1口当たり分配金（税込み）	60円

◎設定来の運用経過

＜設定来の基準価額の推移＞



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時の10,000円が償還時に7,822.79円となりました。設定来、分配金を1口当たり2,670円お支払いしましたので、分配金を考慮した値上がり額は492.79円となりました。

【第1－44期】

(上昇要因)

- ・債券を保有していたことによる利息収入（インカムゲイン）。

(下落要因)

- ・対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。
- ・保有していた債券の値下がり（キャピタルロス）。

当ファンドは、2022年10月24日をもちまして償還となりました。設定以来のご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

○ 1口当たりの費用明細

(2022年4月26日～2022年10月24日)

項 目	第43期～第44期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 48	% 0.576	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(18)	(0.219)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(28)	(0.329)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.006	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	49	0.582	
作成期間の平均基準価額は、8,411円です。			

* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

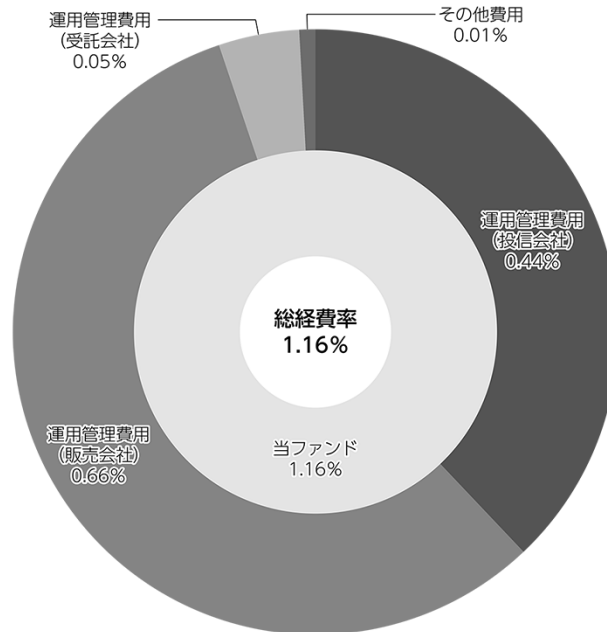
* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.16%です。



(注) 当ファンドの費用は1口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年4月26日～2022年10月24日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第43期～第44期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
野村エマージング・ソブリン	円投資型 マザーファンド	81	100	311,530	364,699

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年4月26日～2022年10月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年10月24日現在)

2022年10月24日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘	柄	第42期末	
		口 数	千口
野村エマージング・ソブリン	円投資型 マザーファンド	311,449	

*単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年10月24日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 292,565	% 100.0
投資信託財産総額	292,565	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び償還(基準)価額の状況

項 目	第43期末	償 還 時
	2022年7月25日現在	2022年10月24日現在
	円	円
(A) 資産	373,589,626	292,565,046
コール・ローン等	4,518,067	292,565,046
野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド(評価額)	369,071,559	-
(B) 負債	3,715,504	892,500
未払収益分配金	2,638,920	-
未払信託報酬	1,074,525	890,325
未払利息	1	292
その他未払費用	2,058	1,883
(C) 純資産総額(A-B)	369,874,122	291,672,546
元本	439,820,000	372,850,000
次期繰越損益金	△ 69,945,878	-
償還差損金	-	△ 81,177,454
(D) 受益権総口数	43,982口	37,285口
1口当たり基準価額(C/D)	8,410円	-
1口当たり償還価額(C/D)	-	7,822円79銭

(注) 設定年月日2011年10月26日、設定元本額は5,821,960,000円、第43期首元本額は457,920,000円、当作成期末における元本残存率は6.4%、1口当たり純資産額は、第43期8,410円、第44期7,822.79円です。

○損益の状況

項 目	第43期	第44期
	2022年4月26日～ 2022年7月25日	2022年7月26日～ 2022年10月24日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 18	△ 1,318
支払利息	△ 18	△ 1,318
(B) 有価証券売買損益	3,708,427	△23,472,116
売買益	3,708,427	49,443,424
売買損	-	△72,915,540
(C) 有価証券評価差損益	△12,765,666	-
(D) 信託報酬等	△ 1,094,117	△ 1,006,229
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△10,151,374	△24,479,663
(F) 前期繰越損益金	△59,903,084	△69,945,878
(G) 解約差損益金	2,747,500	13,248,087
(H) 計(E+F+G)	△67,306,958	-
(I) 収益分配金	△ 2,638,920	-
次期繰越損益金(H+I)	△69,945,878	-
償還差損金(E+F+G)	-	△81,177,454

* 損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2011年10月26日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2022年10月24日			資産総額	292,565,046円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託		負債総額	892,500円
受益権口数	582,196口	37,285口	△ 544,911口		純資産総額	291,672,546円
元本額	5,821,960,000円	372,850,000円	△5,449,110,000円		受益権口数	37,285口
					1口当たり償還金	7,822円79銭
最近10年の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1口当たり分配金		
				金額	分配率	
第4期	3,855,890,000円	4,155,192,029円	10,776円	75円	0.75%	
第5期	3,114,130,000	3,347,298,131	10,749	75	0.75	
第6期	2,648,660,000	2,830,834,073	10,688	75	0.75	
第7期	2,381,620,000	2,396,594,722	10,063	60	0.60	
第8期	2,229,970,000	2,244,523,716	10,065	60	0.60	
第9期	2,114,820,000	2,070,595,312	9,791	60	0.60	
第10期	1,975,990,000	1,970,723,761	9,973	60	0.60	
第11期	1,876,950,000	1,906,449,112	10,157	60	0.60	
第12期	1,806,210,000	1,833,485,875	10,151	60	0.60	
第13期	1,592,050,000	1,624,990,935	10,207	60	0.60	
第14期	1,445,480,000	1,479,531,566	10,236	60	0.60	
第15期	1,384,070,000	1,382,945,544	9,992	60	0.60	
第16期	1,301,070,000	1,297,493,605	9,973	60	0.60	
第17期	1,190,500,000	1,148,110,317	9,644	60	0.60	
第18期	1,121,390,000	1,130,674,166	10,083	60	0.60	
第19期	1,048,170,000	1,079,691,521	10,301	60	0.60	
第20期	999,970,000	1,025,370,824	10,254	60	0.60	
第21期	929,590,000	917,092,864	9,866	60	0.60	
第22期	894,740,000	895,166,837	10,005	60	0.60	
第23期	862,230,000	869,047,495	10,079	60	0.60	
第24期	847,570,000	853,049,750	10,065	60	0.60	
第25期	799,910,000	793,318,015	9,918	60	0.60	
第26期	787,250,000	757,629,039	9,624	60	0.60	
第27期	763,110,000	722,211,850	9,464	60	0.60	
第28期	740,410,000	675,592,675	9,125	60	0.60	
第29期	722,940,000	664,641,272	9,194	60	0.60	
第30期	701,160,000	652,704,799	9,309	60	0.60	
第31期	670,740,000	638,406,542	9,518	60	0.60	
第32期	645,040,000	615,383,127	9,540	60	0.60	
第33期	619,270,000	592,307,673	9,565	60	0.60	
第34期	587,870,000	528,591,443	8,992	60	0.60	
第35期	574,720,000	552,159,002	9,607	60	0.60	

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第36期	533,430,000円	515,736,100円	9,668円	60円	0.60%
第37期	519,780,000	507,655,485	9,767	60	0.60
第38期	504,960,000	484,456,837	9,594	60	0.60
第39期	500,250,000	483,549,355	9,666	60	0.60
第40期	488,420,000	461,021,856	9,439	60	0.60
第41期	468,570,000	435,515,195	9,295	60	0.60
第42期	457,920,000	398,016,916	8,692	60	0.60
第43期	439,820,000	369,874,122	8,410	60	0.60
信託期間中1口当たり総収益金及び年平均収益率				492円79銭	0.4481%

○分配金のお知らせ

第43期	
1口当たり分配金（税込み）	60円

○償還金のお知らせ

償還時	
1口当たり償還金（税込み）	7,822円79銭

○お知らせ

該当事項はございません。

野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド

運用報告書

第11期（決算日2022年10月24日）

作成対象期間（2021年10月26日～2022年10月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として、米ドル建ての新興国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なうことを基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
主な投資対象	米ドル建ての新興国の国債等およびわが国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への直接投資は行いません。株式への投資は、転換社債を転換したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	中率			
7期(2018年10月24日)	円 11,761		% △ 6.0	% 98.7	% -	百万円 31,103
8期(2019年10月24日)	12,761		8.5	98.9	-	28,459
9期(2020年10月26日)	13,420		5.2	95.6	-	24,863
10期(2021年10月25日)	13,588		1.3	101.0	-	21,641
11期(2022年10月24日)	11,535		△15.1	103.2	-	15,683

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

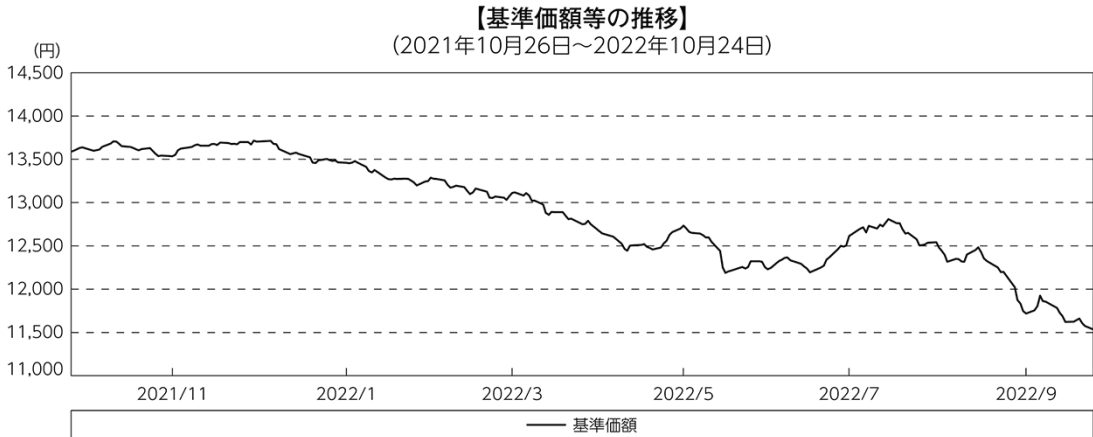
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率
		騰	落率		
(期首) 2021年10月25日	円 13,588		% -	% 101.0	% -
10月末	13,637		0.4	99.4	-
11月末	13,535		△ 0.4	99.2	-
12月末	13,704		0.9	100.1	-
2022年1月末	13,460		△ 0.9	99.5	-
2月末	13,243		△ 2.5	99.0	-
3月末	13,113		△ 3.5	103.2	-
4月末	12,749		△ 6.2	106.5	-
5月末	12,734		△ 6.3	102.0	-
6月末	12,231		△10.0	104.4	-
7月末	12,613		△ 7.2	99.4	-
8月末	12,445		△ 8.4	101.0	-
9月末	11,718		△13.8	102.8	-
(期末) 2022年10月24日	11,535		△15.1	103.2	-

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は、15.1%の下落

基準価額は、期首13,588円から期末11,535円となりました。基準価額の下落額は2,053円となりました。

- (上昇) 債券を保有していたことによるインカムゲイン（利息収入）。
- (下落) 保有していた債券の値下がり（キャピタルロス）。
- (下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

○当ファンドのポートフォリオ

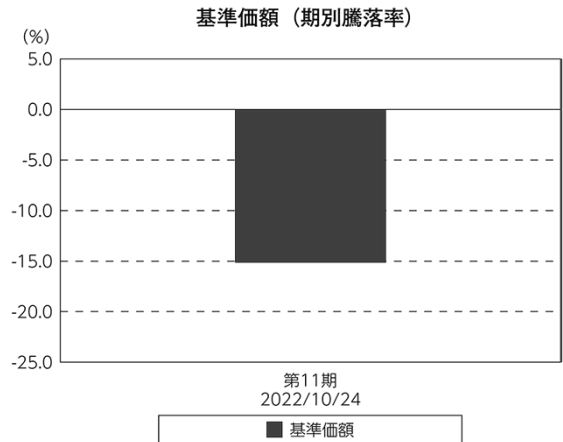
信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して決定した投資対象国の中から、金利水準が相対的に高い8カ国を選定し、ほぼ均等に投資しました。当作成期首から4月末までは、ブラジル、インドネシア、中国、ハンガリー、南アフリカ、メキシコ、フィリピン、コロンビアに投資を行ないました。5月にフィリピン、ハンガリーからルーマニア、ペルーへの投資国入れ替えを実施した他、8月に中国からハンガリーへの投資国入れ替えを実施し、投資国をブラジル、インドネシア、ハンガリー、ルーマニア、南アフリカ、メキシコ、ペルー、コロンビアとしました。ポートフォリオのデュレーションは4～6年程度を維持しました。また、外貨建資産については、対円でヘッジを行ない、為替リスクの低減を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは原則として、BB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。

また、ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。このような当運用の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

今後の運用につきましては、引き続きBB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、投資対象国は5～10カ国程度を基本とし、定期的に見直します。ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2021年10月26日～2022年10月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 1	% 0.011	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	1	0.011	
期中の平均基準価額は、12,931円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年10月26日～2022年10月24日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ		千米ドル	千米ドル
		国債証券	51,956	82,978
		社債券（投資法人債券を含む）	—	23,714

*金額は受け渡し代金。（経過利分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2021年10月26日～2022年10月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年10月24日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	121,300	108,625	16,188,444	103.2	38.7	63.5	27.4	12.3
合 計	121,300	108,625	16,188,444	103.2	38.7	63.5	27.4	12.3

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

* S&Pグローバル・レーティング、ムーディーズ・インベスターズ・サービスによる格付けを採用しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
国債証券	COLOMBIA GLOBAL	8.125	13,000	12,968	1,932,643	2024/5/21	
	FED REPUBLIC OF BRAZIL	4.25	800	779	116,227	2025/1/7	
	FED REPUBLIC OF BRAZIL	4.5	15,000	13,403	1,997,560	2029/5/30	
	HUNGARY	5.25	15,000	13,109	1,953,734	2029/6/16	
	REPUBLIC OF INDONESIA	3.4	7,600	6,648	990,889	2029/9/18	
	REPUBLIC OF PERU	4.125	15,000	13,922	2,074,942	2027/8/25	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	5.875	16,000	13,563	2,021,323	2030/6/22	
	ROMANIA	3.0	17,000	14,119	2,104,206	2027/2/27	
	UNITED MEXICAN STATES	3.75	2,900	2,625	391,306	2028/1/11	
	UNITED MEXICAN STATES	4.5	12,000	10,945	1,631,257	2029/4/22	
普通社債券 (含む投資法人債)	PERUSAHAAN LISTRIK NEGAR	5.45	7,000	6,537	974,352	2028/5/21	
合 計					16,188,444		

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年10月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 16,188,444	% 97.3
コール・ローン等、その他	456,838	2.7
投資信託財産総額	16,645,282	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建純資産(16,529,387千円)の投資信託財産総額(16,645,282千円)に対する比率は99.3%です。

* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=149.03円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年10月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	32,043,836,726
コール・ローン等	154,867,624
公社債(評価額)	16,188,444,475
未収入金	15,401,207,729
未収利息	279,756,710
前払費用	19,560,188
(B) 負債	16,360,143,785
未払金	16,331,043,672
未払解約金	29,100,000
未払利息	113
(C) 純資産総額(A-B)	15,683,692,941
元本	13,596,195,472
次期繰越損益金	2,087,497,469
(D) 受益権総口数	13,596,195,472口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,535円

(注) 期首元本額は15,927,649,547円、期中追加設定元本額は9,578,548円、期中一部解約元本額は2,341,032,623円、1口当たり純資産額は1.1535円です。

○損益の状況 (2021年10月26日～2022年10月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,100,668,173
受取利息	1,100,502,175
その他収益金	201,217
支払利息	△ 35,219
(B) 有価証券売買損益	△ 4,083,675,211
売買益	6,230,202,289
売買損	△10,313,877,500
(C) 保管費用等	△ 2,143,023
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,985,150,061
(E) 前期繰越損益金	5,714,292,898
(F) 追加信託差損益金	2,521,452
(G) 解約差損益金	△ 644,166,820
(H) 計(D+E+F+G)	2,087,497,469
次期繰越損益金(H)	2,087,497,469

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村エマージング・ソブリン 円投資型1210	3,763,849,407
野村エマージング・ソブリン 円投資型1211	3,310,847,238
野村エマージング・ソブリン 円投資型1212	2,438,438,855
野村エマージング・ソブリン 円投資型1208	2,167,634,509
野村エマージング・ソブリン 円投資型1301	1,179,678,290
野村エマージング・ソブリン 円投資型1302	250,701,907
野村エマージング・ソブリン 円投資型1205	197,782,857
野村エマージング・ソブリン 円投資型1111	151,693,470
野村エマージング・ソブリン 円投資型1203	81,625,305
野村エマージング・ソブリン 円投資型1303	53,943,634

○お知らせ

該当事項はございません。